

読者ひろば

恵楓園の遺産 後世に残そう

高谷和生60

市民団体事務局長

(玉名市)

厚労省は全国13カ所の
国立ハンセン病療養所を

強制隔離政策の歴史や教訓を伝える遺産として、保存・活用を図るための作業部会を設けるといふ。また、全国療養所の「歴史的価値がある建造物」の維持管理の具体的施策として、緊急を要する菊池恵楓園監禁室を含む6件については本年度から3カ年をかけ補修を行うこととなった。

ティアガイドは「あついで」とともにこの場所で、見学者に「差別の現実」を実感し、入所者の思いを感じとり、胸に刻んでいただけるよう解説を行っている。

かねて私たちも要望していた事柄でもあり、大変喜ばしいが、果たしてどのような補修であろうか。これまで厚労省では「歴史的建造物の保存等検討会」を開催し、各園に残された建造物を「建築史の観点」から抽出してきたが、入所者の皆さん方は、単なる学術価値とは別に「ここで何が起きたか」などの「記憶」を表象することを求めてこられたという。

統一交渉団と厚労相とのハンセン病問題対策協議会における確認事項にあるように、恵楓園の歴史的建造物である「監禁室・旧事務本館」、史跡としての「隔離壁」の保存すべき内容や範囲などを、入所者の記憶や思いを基に精査し検討することが急務である。

菊池恵楓園に関わる方々の英知を結集し、熊本県の遺産を将来に残していかなければならない。

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。あて先は①郵送 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者ひろば」係 ②ファクス 096(363)1268 ③Eメール hiroba@kumanichi.co.jp

投稿される方へ